

歴史的建物の再生と新たな価値の創造

郡 裕美 (こおり ゆみ)

ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科 教授

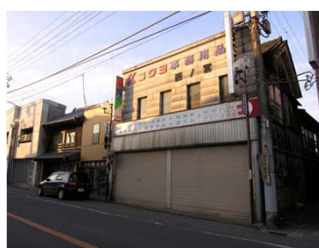
用途・応用分野：建築・土木・社会基盤



■ 研究シーズ概要：歴史的建造物を現代に生かす実践的研究

歴史的建物は、時代の変遷の中で増築や改築が重ねられ、最初の形がわからないものも多い。伝統的な町並みでは、歴史的景観の調査をし、それらを尊重しながらも、現代に生きて使えるデザインを研究し、建物を蘇らせる。通常古民家や空家などでも、その地域の風土や文化を調査し、それを生かした形で再生する。

● 重要伝統的建造物群保存地区(千葉県佐原)の町並み再生の事例。「いなえ」(明治時代の建物)では、看板建築を撤去し、閉鎖的な外観を伝統的な形に再生することで、町並みに奥行きが生まれた。



修復再生前の外観



軒、格子戸を作った再生後

■ 研究シーズの特徴 歴史的町並みや建物は、地域の風土、建物の立地や用途によって様々な特徴がある。事例を丁寧に調査しながら現代のニーズに応じて修復再生をする、伝統を未来に繋げる実践的研究である。

- ① 伝統的建造物群保存地区の町並みの再生と修景デザイン
- ② 古民家、古建築のリノベーション、コンバージョン
- ③ 空家、廃屋の創造的利用のためのデザイン

